



公益財団法人

ソーシャルサービス協会だより

2018年
9月26日
事務局発行
No.26

8月の損益結果

4～8月は未入力事業所があり、8月単月としました

8月の損益結果は、4つの事業所（青森、多摩、ワークセンター、福岡）の未入力（9/19現在）で、下の表のような結果です。月報によれば大所のワークセンターが予算超過達成という報告がありますから、事業所の赤字予算-99

2018年8月の損益実績						(千円)
	実績	予算	前年	予算差	前年差	
1 旭川事業所	-166	-1	-212	-165	46	
2 青森事業所	0	-33	-54	33	54	
3 仙台事業所	-81	61	-22	-142	-59	
4 多摩支所	0	44	519	-44	-519	
5 ITセンター	-3,240	217	-2,130	-3,457	-1,110	
6 ワークセンター	0	-99	-6,070	99	6,070	
7 京都事業所	-2,623	265	-1,133	-2,888	-1,490	
8 宮若事業所	147	15	-420	132	567	
9 田川事業所	45	-17	-388	62	433	
10 福岡事業所	0	2	-182	-2	182	
11 都城事業所	160	138	14	22	146	
12 本部	8,127	63	-630	8,064	8,757	
計	2,369	655	-10,708	1,714	13,077	

千円はクリアしているものと思われませんが、多摩支所の入所者確保が成功していませんので、事業所の予算の+44千円黒字は逆に-300千円の赤字が見込まれます。本部の8,127千円の黒字は、4～7月までの事業所の消費税支払い等の立て替え分の戻りによるものです。

ワークセンター、多摩支所の未入力等で正確な到達点が見えません。不安をかかえたまま下期に入っていきます。
(濱田)

本部職員紹介

佐藤喜美子さん

8月20日から、月・水・金の非常勤で経理の仕事を中心に勤務されています。



<自己紹介>

会計事務所で営利法人や相続に関わっていたため、公益財団法人については学びながらやっております。要介護1の母との生活のため、週3日の勤務ですが、よろしくお願 いたします。

8月の業務月報

◆田川事業所

1. 業務遂行に関すること
8月の作業高目標に対してはほぼ129%の遂行状況
2. 予算遂行に関すること
年間受注目標に対しては約92%の遂行状況
3. その他
事業遂行の要の事務局長や財政が10月の組合大会で高齢のため体力が続かないと辞意を表明しており後任もおいそれとは見つかりません難題に困惑しています。

◆ITセンター

1. 業務に関すること

◆職業訓練

- ・8月生・・・20人が入校、1人体調不良で即退校。平均年齢が40代である。ほとんどが初心者で訓練カリキュラム進行が難しくなっている。60代が居るので難しさを感じる。女性のシングルマザーがかなり多い。1人が障害者である。また精神的に不安定な方が多く、その影響で講師に疲労感見受けられる。
- ・9月生・・・選考会実施。高齢者が多く、訓練進行が心配である。

◆ホームページ作成

現状の仕事を守るばかりで仕事が増えてこない。原因は案件の規模が広範囲または大きくなったため、高いレベルであっても、2人しかいない技術者集団では無理で、請け負えない。

2. 予算遂行に関すること

◆職業訓練

- ・3月生・・・就職率が悪く、就職支援費対象とならず。
- ・4月生・・・50代の方が多く、訓練を終了しても再就職が難しく、卒業と同時に就職が決定していかない。子供のいる人も多く、1日の平均労働時間が短いため、就職支援費対象者にならない。
- ・6月生・・・訓練を修了したがほとんど就職先が決定していない。今後の就職支援費対象になるか不安である。
- ・マイクロソフトオフィスを2013から2016へバージョンをアップすることにした。パソコンが60台あるのでかなりの費用が必要となる。Win10への切替えは完了しているが、パソコン60台の買換えが、2年後からは順次必要となってくる。
- ・2016バージョンアップに伴い、パソコン講師がMOS2016資格を取得する必要が出てきた。講師と職員の計10人分の資格取得のテキストを購入する。

3. その他

- ・訓練説明会から訓練を休むことばかりの質問があり、心配と同時に不安を感じている。
- ・2人が2016バージョンの試験を受験し合格している。

8月の業務月報

◆仙台事業所

- 業務遂行に関すること
介護部門……利用者人数に変化はありません。利用者増加のため近隣の居宅介護支援事業所、病院を訪問したり、パンフレットを配る等して、営業活動しています。
居宅介護支援……1人増。1人減（死亡による）
入院、退院の頻度多くなっており、その都度対応しています。
- 予算遂行に関すること
7月に大きく減収となっているので、その回復の為積極的に営業活動しています。
- その他
土・日・夜間に対応できるヘルパーが少ないため工夫が必要です。（ヘルパーの人数に変化はありません）

◆ワークセンター

- 業務遂行に関すること
 - 8月は、ポンプ場の清掃が13日、処分の仕事3日あり、売り上げは大幅にふえた。
 - 訪問相談員を増員するよう京都市より指示があり、1人を採用、9月にも1人増員する予定であり、人件費がアップします。
 - 病気による退職者が1人ありました。
 - ハローワークに清掃事業の求人をしてはいますが、求人がないため、再度、急募扱いで求人を要請しています。
- 予算遂行に関すること
 - 新規事業をめざすプロジェクトチームの体制づくりは、引き続き議論しています。
 - 31年度京都市の予算編成に向けて、各事業部より予算の増額を要請していくことにしています。
 - 予算の執行は、8月度は予定通りに遂行しています。
- その他
特になし

◆都城事業所

- 業務遂行に関すること
 - 8月は、台風が多く接近し、日本の各地に大きな被害をもたらした。宮崎地方では台風12号（7/25～8/03）は「逆風台風」で、都合2回、最接近し、15号（8/12～8/15）は、宮崎県日向市に上陸した。また20号（8/16～8/24）は、徳島県南部に上陸し、21号（8/28～9/05）も徳島県南部に上陸し、関西方面に大きな被害をもたらしている。都城事業所では、職員や利用者とも大きな被害はなかったが、台風接近のたびに、台風の進路予想や警報等に注意を払い、独居利用者（高

齢者）の安全確保やヘルパーの訪問時刻の変更調整等を行い、疲労感も、まだ残っている。

今回は、8月上旬や台風一過は気温も高く、熱中症等で体調を崩した高齢者も少なくなく、不安を訴える等、精神的にも影響を与えている。

- 予算遂行に関すること
 - 8月は、新規利用者は2人で増加したが、施設入所1人、病院入院1人で2人減少し、介護報酬請求分は、前月と同数の83人であった。
8月の介護報酬請求額（訪問介護収入）は、2,468千円で、前月（7月）の2,575千円と比較し、107千円減少している。これは、お盆休み等で家族（子供）が帰省し、訪問予定のキャンセルが多かったためと思われる（訪問介護の生活援助サービスは、子供等の帰省や一時同居者がいる場合は利用できない）。
 - 8月の単月収支は、収入 2,468千円－経費等 2,308千円＝160千円の黒字になっている。
 - 熱中症等での体調不良や度重なる台風接近での独居高齢者等の生活の不安が大きくなり、在宅生活から施設入所等の希望が増加してきている。
8月末で、（ほぼ毎日の）訪問介護サービスから毎日のデイサービスへの切替者2人、施設入所者が3人になり、5人減少した。なお、9月に入り、本日18日現在で、病院入院は6人増加し、計8人。また、施設に1人入所した。
熱中症や台風という原因もあるが、短期間に10人程の利用者が減少したことは、今までになく、職員も仕事が減っていることに不安を感じている。時期的にケアマネージャーからの新規利用者の紹介も少ないが、事務所の実情を訴えて、働きかけ（営業活動）を行っている。

◆多摩支所

- 業務遂行に関すること
 - 入所者は20人で推移しています。10月1日に井の頭病院から1人入所予定（大田区）、ほかに井の頭病院から1人見学がありました。また、昭島より入所の問い合わせがありました。
 - 9月13日東村山市生活福祉課の課長ほか3人と話し合い、補助金のカットが出されました。実施は次年度からです。理由は、市財政（補助金720万円のうち180万円負担）が苦しいため、事業の見直しをしているとのことでした。
- 予算遂行に関すること
 - 東村山市との話し合いは、本部のテコ入れもあり、10月上旬に再度もつことを東村山市より提案されています。
 - いずれにしても利用者の確保と、人件費、諸経費の削減は取り組んでいきます。